

愛媛県支部

易経に学ぶ経営のあり方に関する調査研究

この報告書は、中国の古典四書（大學・中庸・論語・孟子）五経（易経・書経・詩経・礼記・春秋）のなかで、五経の筆頭にあげられている易経を取り上げたものである。

易経は秦の始皇帝の時代に行われた焚書坑儒で他の四経は排除されたにもかかわらず生き残った経典である。その理由は、当時の知識人は易に哲学的・思想的研究や社会観を加え、自己の思想を表願する格好のツールとして、他に追従を許さない経典であったからである。

本報告書は、易経の六十四卦に入る前に易経の基本知識を知ってもらうために、第1章の易の基本知識で「易経とは何か」からはじめ「易経の成立」「易の二面性」以下5項目を記述している。

第2章では、経営における六十四卦および三百八十四爻で「六十四卦の天の時と三百八十四爻」で、六十四卦全卦の卦名および経営上直面する局面を記述した。

報告書の17ページ以降は、具体的に上経三十卦の卦名、象形を表記し、次いでその卦の時に該当する経営の局面および経営についての支援内容を記述している。

次いで各爻の段階（6段階）での経営指針や戒めなどを記述した。紙面の都合で、六十四卦全部を記載できず、下経三十四卦は省略した。